



子どもたちが、故郷で健やかに育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田こういち レター

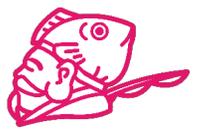
Vol.18

12月定例議会:一般質問

1次産業の現在と未来について

質問 道の駅は1次産業発展の一助となり得るのか?

1次産業の発展および、1次産業の跡継ぎ問題等の課題に今後もしっかり向き合う所存ですが、現在、敦賀市の道の駅について調査を行っていることを受け、敦賀真鯛・敦賀ふぐ等の養殖業の成長産業化戦略を、道の駅調査の仕様に入れて検討してはどうか。



敦賀真鯛
Tsuruga Madai

部長の答弁(一部)

仕様書を変更することはできないが、今後協議していく中で、豊田議員の思いをはじめ、農業・漁業の振興も含めて話を進めていきたい。

質問 1次産業の推進と人口減少の克服に向けて!

1次産業の推進は、若い人のUターン・Iターンに繋がり、1次産業の担い手不足解消や人口減少対策にもなると考えますが、1次産業の推進と道の駅設置の検討によって、人口減少対策の有効な手段に繋げるストーリーを市長はどう描いているのか。

市長の答弁(一部)

1次産業をビジネスとして成立させていくことができれば、農業をやりたい若者を呼び込んで、敦賀市で課題になっている1次産業の労働力不足も補うことができる。(中略)将来、若い人が1次産業を担って、敦賀市の成長産業として農業・漁業をやっていく道筋が客観的な道の駅調査によって見えてくれば、道の駅設置に向けた検討を進めていきたい。



私の考え

1次産業の活性化によって、少子高齢化等の社会課題の解決へ!

暮らしを支える1次産業は、経済成長分野においては2次産業や3次産業が日の光を浴び、その影に隠れていると言われることがあります。持続可能な社会や暮らしが見直される現在では、1次産業の重要性に注目が集まっています。そこで、敦賀市においても農業・漁業の活性化を促すことで、地域経済の底上げになり資金需要を生み出すだけでなく、食糧問題はもとより少子高齢化等の社会的課題の解決に繋がると考えています。

令和6年能登半島地震に係る敦賀市の支援について

この原稿を書いている1週間前に令和6年能登半島地震が発生しました。1月8日現在でお亡くなりになられた方が168名、安否が不明な方が323名で、今も増え続けています。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。そして、1日も早い復旧、復興を願っています。

令和6年能登半島地震後、すぐに敦賀美方消防組合の消防署員やDMAT(災害派遣医療チーム)、そして、敦賀市の職員も被災地へ向かってくれ、今も最前線で活動を続けてくれていることに敬意を表します。

私は前職で金沢市を中心に11期コンサルティング会社を経営していた際、石川県羽咋市にも事務所を設けていました。石川県のクライアントである大手通信会社には能登地方出身の方がたくさんおられました。その中には今回の震災で被災された方もおられます。また、その中には未だ連絡がつかない方もおられます。また、私の息子は石川県輪島市にある高校でサッカー部に所属しているご縁もあり、年に何度も輪島市を含め能登半島へ行く機会がありました。私も今後ボランティア活動等によって、被害に遭われた地域で少しでもお役に立てるよう頑張る所存です。



質問 敦賀市の奨学育英資金貸付制度が前進!

先の6月議会に引き続き、奨学生採用の要件緩和や返納不要の奨学金拡充等を、今議会においても求めました。



令和6年度募集から要件が緩和されます!

学業成績… 評定による基準を設けず、志望校への入学に必要な学力と学修意欲があること。

保証人… 保護者以外のもう1名は市内在住の方としていたが、市外在住の方も可となる。

ポイント 世帯収入… 学資の支弁が困難であるという表記が不明瞭で分かりにくかったため、収入金額の目安をホームページ等で掲載する。(要件緩和なし)

学校長の推薦調書… 今後も必要ではあるが、学習や生活の様子等についての項目を見直し簡素化する。

市長の答弁(一部)

奨学育英資金貸付制度によって、敦賀市内の子どもたちが夢を実現していける。修学、就職というプロセスを経て夢を実現していく。そして、敦賀市で次の世代を育てていくというような循環をつくっていかれたらなと思っている。

私の考え

子どもたちが希望する進路を選択できる敦賀市でありたい!

自らの経験から、学ぶことを希望しても経済的な理由等で進学できない経験を誰一人して欲しくない。生まれた環境に関わらず、子どもたちが希望する進路を選択できる敦賀市でありたい。そして、敦賀市で育つ子どもたちの夢を叶えてあげたい一心であります。物価高騰等の影響により家計が益々厳しくなる中、これ以上教育格差を拡大させないためにも、返納不要の奨学育英資金拡充等を今後も求めていきます。

編集後記

敦賀市アマチュアボクシング連盟の顧問でもある敦賀市出身の選手が、令和5年12月23日に後楽園ホールで開催されたライト級・全日本新人王決勝戦において、2ラウンドKOで見事に勝利して第70回全日本新人王に輝きました。

敦賀市出身の選手が全日本新人王を獲得したのは、私の知る限り初の快挙です。私も何度か練習を共にしましたが、ボクサーとして自らの能力と技術の限界に挑むと同時に、人間の可能性を極限まで追求する姿を目の当たりにしました。このような優れた成果は、敦賀市民に夢と感動を与えるとともに、スポーツへの関心を高め、活力ある健全な社会の形成にも貢献するものと言えます。また、敦賀市においては、全国的に野球の強豪校として知られる敦賀気比高校をはじめとして、野球、サッカー、陸上、柔道、水泳、テニス等々、多くの競技で活躍する選手がいますが、文部科学省は、スポーツが人間の体を動かすという本源的な欲求に応えるとともに、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や、楽しさ、喜びを与えるなど、人間の創造的な文化活動の一つであると伝えています。このような人間形成に大きな影響を与えるスポーツの推進、並びに各競技の環境整備に向き合うとともに、敦賀市民の皆さんが、スポーツを通して健康維持と体力増進をはかり、地域社会の連帯や交流を図るためのスポーツの普及にも、引き続きしっかり取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

豊田こういちレター
Vol.18

2024年1月8日発行

発行責任：市民クラブ

編集責任者：豊田耕一

YouTubeにて豊田耕一の想いを配信中!



よろしければ、
豊田耕一オフィシャルサイトも
是非ご覧下さい!

政策をはじめ、動画、ブログなど日々更新中!



豊田耕一 検索

子どもたちが、
故郷で健やかに
育っていくために!

敦賀市議会議員

豊田 耕一

〒914-0045

敦賀市古田刈66-803-2

inforu.toyoda@gmail.com

